

本内容は、各八都県市同時に発表しています。

平成20年1月10日
総務局

第3回八都県市合同防災訓練・図上訓練の実施について

この度、八都県市は合同で標記訓練を実施することになりましたので、お知らせします。

地震国である日本では、地域を問わず大地震が発生する可能性があり、首都直下地震による都県域を越えた広域地震災害に対して、首都機能を担う八都県市が災害に対し万全の備えを講ずることが求められています。

首都圏を構成する八都県市は、この点を十分認識し、共通の課題として災害対策に力を入れる必要があります。

上記を踏まえて、八都県市は、**今回、相互応援の調整できる段階を想定した発災12時間後を設定し、**防災関係機関と一体となった総合的かつ実践的な訓練に取り組みます。

1 目的

- (1) 八都県市間の連絡調整機能の検証及びに強化
- (2) 八都県市相互応援協定などの広域応援協定のほか、各都県市の地域防災計画、防災関係機関の作成する災害応急対策に係る課題の抽出と防災諸施策への反映

2 訓練のテーマ

『八都県市相互及び国との「広域連携」』

3 実施日時及び会場

- (1) 実施日時
平成20年1月18日（金）8時45分から17時15分まで（開式、閉式を含む）
- (2) 会場
東京都第一本庁舎9階東京都防災センター

4 主な訓練項目

- (1) 八都県市連携訓練
 - ・ 八都県市緊急輸送路の確保
 - ・ 医療救護応援調整
 - ・ 広域医療搬送調整
 - ・ 救援物資、資機材搬送調整
 - ・ 帰宅困難者対策
- (2) 国との連携訓練
 - ・ 広域医療搬送
 - ・ 救出、救助応援
- (3) 各都県市個別訓練
 - ・ 各都県市が個別に企画、実施する訓練

5 訓練参加機関

- (1) 八都県市（埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市）
- (2) 陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、海上保安庁、関東地方整備局、NTT東日本(株)東京支店、日本赤十字社東京都支部、KDDI(株)、東京電力(株)、東京ガス(株)、(社)東京都トラック協会、警視庁、東京消防庁、都内区市町村

6 想定地震

- (1) 地震のタイプ
首都直下の地震
- (2) 震源
東京湾北部（緯度：35度37分 経度：139度53分）
- (3) 規模等
M7.3、深さ38km
(中央防災会議「首都直下地震対策専門調査会」発表の想定地震による。)

7 訓練の方法

- (1) 訓練の形式
状況付与形式のロールプレイング方式
- (2) フェーズの設定
 - ・平成20年1月18日（金）午前8時発災から12時間経過した状況下で実施する。気象条件：天候は晴れ、北北西の風【風速6～15m/s】

問い合わせ先

総務局総合防災部防災対策課
電 話 5388-2455
都庁内線 25-050